

笑い、涙した新春のつどい



はじける笑顔 着物が似合う司会のお二人



もとむら伸子衆院議員

鈴鹿市日本共産党後援会は1月28日、もとむら伸子衆院議員を迎えて「新春のつどい」を開催しました。来年の統一地方選挙や参院選勝利をめざし、約100人が参加しました。新婦人のコーラスや切磋亭琢磨さんの落語、豪華景品が当たる福引などで会場が大いに盛り上がりました。

谷口茂会長が「憲法改悪の発議を許さないたたかいを」、そして「共産党を丸ごと知ってもらう人を増やそう」と呼びかけました。市議3人はそれぞれの活動報告を行いました。

もとむら議員は沖縄の辺野古基地反対のたたかいにふれ、「被爆2世として幼いときから私の中で光であり続けたのは、戦争はしない、武器は持たないと誓った平和憲法です。平和憲法が安倍政権によって奪われようとしている。全身全霊をかけて安倍政権とたたかう」と述べ、会場から大きな拍手を受けました。

参加した女性(23歳)は赤旗記者のインタビューに「もとむらさんの沖縄の話に元気ももらった。」と興奮気味に語っていました。

そうだ、そのとおり
 オープニング、落語、3人の市会議員さんの話、もとむらさんの新春講演、どれもみんなすばらしかった。
 腹から笑い、「そうだ、その通り！」と頷いて真剣に聞きました。あつという間に時間が過ぎたのでとても良かったのだと思います。
 本村さんには、先に聞きたいことを伝えていたようですが、みんなが関心を持っていることにびっくりで本当に良かった。本村さんのざっくばらんの話し方も聞いていて親しみが持てた。
 (自由ヶ丘 桑原 篤)



切磋亭琢磨さん

涙あふれる

臉が熱くなり、その内ポケットと目がかすみ涙があふれました。新春のつどいの時の、もとむら伸子衆議院議員の講演の中のことです。

今、沖縄の方々が本土にいる私には到底わかりえない苦痛を受けている。真実を真実として受け止めようとしなない人たちがいる。苦痛と差別？日本人として人間として許しがたい昨今の政治がいつまで続くのか。もとむら議員の話は判りやすく、ひとりひとりに訴えていく姿勢に感動を受けました。

久しぶりに良い講演を拝聴でき心よりお礼申し上げます。

(自由が丘 高木利江)



盛り上がった福引き

今年もさわやかな歌声で始まったつどい、昨年よりパワーアップしたコスモス、良かったですね。谷口後援会長のあいさつの後、切磋亭琢磨による落語、新春にふさわしい初笑いがありました。

3人の市議のあいさつ、議会報告の後、もとむら伸子衆議院議員による国会の報告と沖縄への思いを熱く語ってくれました。最後に会場が盛り上がった福引き、生活にすぐ役に立つ景品も良かったです。中身の充実した新春のつどい。スタッフの皆さん、ありがとうございました。

(岸岡町 吉田里美)

生きていることは

すばらしいことだ

楽しく！元氣！新春

のつどい2018年 鈴

鹿市日本共産党後援会

国会での活動を熱く語ります。もとむら伸子衆議院議員。私たちもご挨拶します。石田秀三森川ヤス工 橋詰圭一 皆様お越しくください。落語切磋亭琢磨、新婦人コーラス、コスモス。

このようなお誘いの案内をもらった。

落語の「寝床の会」は、津市敬和公民館の大会議室で公演を長年(143回)つづけて、いつも会場を満席にしている。わたしは車の運転を夜はしなくなつた。寝床の会に出席してないので、琢磨さんに会いたいと思つた。

新婦人コーラス、コスモスの人たちの歌を聞きたい。石田さん森川さん橋詰さんと会いたいと、わたしは「新春のつどい」へ出席しました。車の運

転には氣をつけて走つた。

ジェフリーすずかホー

ルは出席者でいっぱい。

元氣な顔、よく知っているが、名前をすぐに言えないが、言葉を言い交わした。稲垣さんと伊藤さん、いっしょに出席したのだ。わたしも補聴器、伊藤さんも補聴器をつけているので一番前の椅子に座つた。長い付き合いで、これからも元氣で生きてゆくことを言い交わした。伊藤さんは百歳まで生きて、生きた『しる

し』に富士山の頂上に登る。その日を楽しみにしていると言つた。頂上に立つた伊藤さんの顔は、富士山よりも高く、伊藤さんが青い空を眺めて笑っている。

生きている。それはうれしくて、すばらしいことだと伊藤さんの話を聞いた。

(中旭が丘

山野孝治)



コスモス熱唱



にぎわうバザー会場

中川正春さんと

熱いトーク

市民連合すずか主催「政治家と語ろう！一緒に考えよう！」パート1（中川正春×岡歩美）が2月17日（土）鈴鹿市文化会館第1研修室で行われました。

先の衆院選で野党統一候補として当選した中川さんを励まそうとする人、中川さんにしっかり注文をつけようとする人などさまざまな考えの人が一堂に会し、90名近い参加者であふれました。オープニングはシンガーソング



ライターいしだようこさんの歌と語り。透きとおったやさしい声で会場を魅了しました。政治を考えるようになったきっかけなどのお話も新鮮で、用意した絵本やCDが売り切れるほどの人気でした。

中川正春さんは、「私は二大政党が大事だと思ってきた。民進党が希望の党に合流しようとしたのも自民党に対抗できるかたまりをつくるねらいがあった。しかし希望の党の中には自民党を補充しようとする勢力があり、結局私は希望へは行かず無所属で出た。そしてみなさんの応援をいただきたい当選できた。二大政党制にこだわらず、野党がそれぞれに持ち味を出してがんばる、そして一致する重要政策で連立政権を作るというヨーロッパ型のやり方が大事だと考えるようになった」と語りました。

安倍政権のもとで、憲法を変え海外で戦うことができる自衛隊にさせないために、野党も市民力を合わせる事が大事です。司会の山本あけみさんが「今日の参加者が先頭に立つて3000万人署名に取り組みましょう。」とよびかけ、集会をしめくりました。

（吉田）

楽しい後援会行事

「花見鍋」と「春のバス旅行」



鈴鹿市日本共産党後援会は毎月代表者会議を開いて、いろんなことを相談しています。

2月23日の代表者会議では、先に行われた「新春のつどい」をふり返るとともに、これから行う春の行事について相談をしました。

まず4月1日に予定している「花見鍋」。去年、谷口会長の発案で初めて取り組みましたが、なかなか好評。「4月1日にホントに桜は咲くの？」との疑問が出ましたが、「つぼみぐらいはあるやろ。まあ、やってみよう」。大鍋でつくる豚汁は美味しい。みんなでワイワイ、楽しみましょう。景品いっぱいのお土産もあるよ。詳しくはチラシ見てね。

そしてもう一つは「春のバス旅行」。バス会社に予約を入れる関係で、日は5月20日と決まりましたが、場所についてはいろいろと検討中。信州松本のちひろ美術館が「いわさきちひろ 生誕100年」ということでイベントを企画、ぜひ行ってみたいという声強い。ただし、「鈴鹿 松本は片道300kmで5時間、いつものようにバス2台も人は集まらないよ」「今年はバス1台にしよう」「いやもっと近くにいいところはないの?」などの意見も出ていて調整中です。決まり次第お知らせします。



写真は去年の花見鍋のようすです



森川ヤスエの

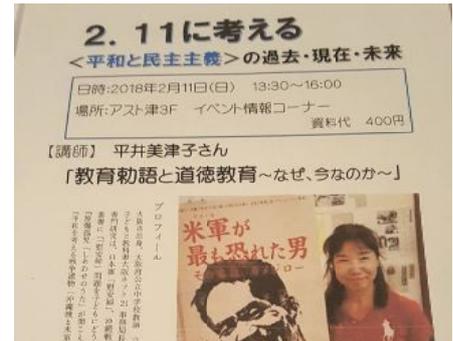
ここに夢を

道徳教育より憲法の世界観を 学校現場で実現させましょう！

アルマーニ 制服問題や高校の頭髪問題は私が息子の通う学校で一通り議論をしてきた問題なので、時折社会問題化することを見ると、学校現場に憲法の世界観がほとんどゆき届いていないのではないかと嘆いていたとき、タイムリーに、2.11に考える集会で平井美津子さん（大阪府公立中学校教諭・立命館非常勤講師）の「教育勅語と道徳教育～なぜ、いまなのか～」のお話を聞く機会に出会った。

今安倍政権の中で意図的に教育勅語の徳目だけを抜き出して良いことが書いてあると、国会でも発言してはばからない政治姿勢と、道徳教育の教科化は一連のものなんだと強く思った。人間の内面を点数化することは画一的な道徳観を押し付けることになる。そ

のことが憲法改正と一体になって、日本の学校教育を全体主義的な社会づくりの基礎においていこうとしているように思える。学校の校則問題など（頭髪の問題や服装についてなど）昨今報道される事例を出しながら、今学校現場に憲法をと訴えた平井先生の話に大きく共感しました。髪の色は黒でなければいけない、スカートの丈をはかたりと知らず知らずのうちに我々は画一化の波にはめ込まれていることに気付くことが重要だと思う。



（鈴鹿市議会議員 森川ヤスエ）



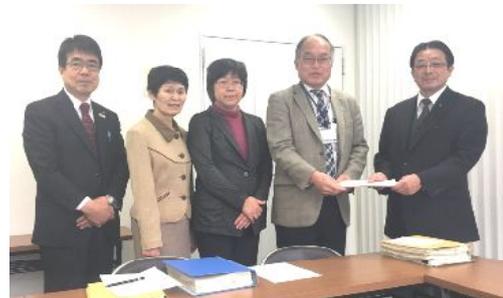
はしづめ圭一の

はじめの一步

『話の種』に共感の声

市議会の度に市政だより「話の種」を約1万枚印刷して共産党鈴鹿市議団の議会報告「すずか民報」とともにお配りしています。私は千代崎周辺に約800枚配っていますが、先日、それを読んでいただいた男性から「感動した！」と、電話がありました。今回初めて配ったアパートに住んでいる方です。

話を聞くと、以前勤めていた職場で体を壊した、クルマがないので送迎のある派遣の仕事しかつけない、鈴鹿は何でこんなにバスも走っていないのか、やっと送迎付の体力を必要としない仕事を見つけて明日から仕事、朝5時にバスが迎えに来る、生活パターンを作るのが大変だが、その会社は食堂もない



2月15日、日本共産党鈴鹿市議団と亀山市議団合同で、鈴鹿亀山地区広域連合長に介護保険料の4月からの引き下げを申し入れました。

し弁当もとってくれない、朝早くコンビニで買ってバスに乗る・・・またゆっくりお話を聞かせて下さいと、電話を切りました。

ぎりぎりの生活で毎日を生きている人は少ないと思います。そうした人たちの気持ちをくみとり、少しでも支えになればと思います。また、そうした思いが社会の流れになるよう行動したい、とも思います。皆さんもお気軽にご連絡ください。

（鈴鹿市議会議員 橋詰圭一）



石田 秀三の かけある記

Eテレ番組「バリバラ」を見よう！

私はNHKのEテレ日曜夜の番組「バリバラ」の大ファンです。

*「バリバラ」とは？

「バリアフリー・バラエティ」の略。障がい者や社会に適応しにくい人たちが主役、ホンネを語る番組で、めっちゃ面白いです。

2月のバリバラのテーマは、「場面緘黙（ばめんかんもく）」。家では普通にしゃべれるのに、学校や職場、他人のいる場所では全く話せず黙っている人が登場、そのホンネを語るのですが、何しろ話せない人が話すので、司会進行の方も四苦八苦！

「場面緘黙」も「LGBT」も笑い飛ばすエネルギー

私は、この「場面緘黙」の人たちに心から共感しました。実は私も、中学生ぐらいまでは人前に出て話すことが大の苦手だったのです。俗に「内弁慶」と言われますが、ホントに他人が多くいる所では黙って隅にいるだけ。いえ、家にいる時でも、1人で風呂に入っ

という記憶があります。

そんな私に、神戸高校の音楽の前田博先生が言いました。「石田君、人と話すときは相手の目を見て話すんだよ」と。そんなアドバイスをいただいたのは、生まれて初めてでした。「あ、そうか！」それから私は、自分を変えなければと思うようになりました。いま人前で話すことを仕事にする私を、最近知った人は分からないでしょうが、幼なじみの友は「お前は変わった！」と言うのです。

「バリバラ」は、いろんな障がいを持つ当事者が出てきて、ドキッとするような非情な体験をしたり、それを笑い飛ばしたりします。深刻な問題を深刻に考えず、「みんな違ってみんないい」と大らかに語り合います。このごろ話題のLGBTも、当事者がどんどん登場して明るく話します。それを見て笑っている私たちも、いつの間にか当事者と同じ地面に立っていることに気付くのです。

皆さん、ぜひ「バリバラ」を見て下さい。世界が変わりますよ！



(鈴鹿市議会議員 石田秀三)

集まれば元氣、語り合えば勇気！

自由が丘のつどい 2月18日(日)

久しぶりの鈴鹿西部後援会「自由が丘のつどい」は、ピラの全戸配布の効果もあって20名の参加でした。全く新しい顔ぶれも混じり、結構白熱した議論になりました。

要望の第一はコミバス。2時間一本のバスに乗り平田に出て、また病院行きのバスを待つという老婦人。ピラを見て居ても立つてもおられない来たとおっしゃいます。高齢化率37.4%の町、自由が丘。どうやって声をあげればいいのか？皆さん切実です。

石田議員「自由が丘は公園を住民要望でつくったり、鈴鹿の学童保育発祥の地、共に関わりましょう」のエール（オンデマンドって何？もつと。お招きバスとか分かりやすいに名にしてよの声も）

二つ目はサロンづくり。市の「ふれあいいきいきサロン」事業で年間48000円補助が出るんだって！！よっしゃ、自由が丘と（石薬師）北町にもつくるー！俄然やる気。

三つ目は、オークワに渡る横断歩道つけてよ！（トンネ



小池ビデオを真剣に観る参加者のみなさん

(文責 萩森)

私のおすすめ 簡単レシピ

-かんたん親子丼-

自由が丘 桑原千香子さん



材料（4人分）

- ごはん
- 鶏肉 200g
- 玉ねぎ 1個
- 卵 2~3個
- ネギかミツバ
- みりん 50cc
- しょうゆ 50cc
- 酒 50cc
- 砂糖 大さじ2

作り方

醤油、みりん、酒、砂糖を合わせて鍋で火にかけ、煮立ったら切った玉ねぎを入れる。

玉ねぎに火が通ったら鶏肉を入れる。鶏肉が煮えたら溶き卵を入れ好みの固さに火を入れる。

ダシが無くてもしっかり美味しく簡単にできちゃいますよ



編み物

新シリーズ
私の趣味

原 信子さん（神戸）

改めて何かやろうと考えてみました。歌、踊り、スポーツはダメ。手を使うのは好きです。母親が、ランドセルのない入学の頃（昭和22年）布製刺しゅう入りの横がけカバンを作ってくれたのを思い出しました。少しはつながっているのかなと。

この寒い時期は暖房を背にして編み物です。すべて自己流、短期間にできあがる小物ばかり、帽子、マフラー、ソックスカバーを楽しみながら編んでます。作品は人の好みも考えず、押し

つけています。

次は「女性のひろば」3月号の「直線編みで作る冷えとり小物」や手縫いの簡単きものリフォームをやってみたいと思います。

車、免許なし、自転車も禁止され、歩くことを心がけています。文化会館や福祉会館は歩きます（一日5千歩くらい）。

楽しく、後期高齢者の生活を送れるように無理をせず、健康第一が毎日の目標です。



鈴鹿市内の高校で非常勤講師が「3月末で雇い止め」を通告されるといふ事態が発生しました。労働契約法が改正され、5年以上勤めた非常勤講師（有期雇用労働者）は2018年4月1日以降無期雇用へ転換できるルールができましたが、これを回避しようとしたものでした。困り果てた非常勤講師は鈴鹿ユニオンに加入し、学校経営者に団体交渉を申し入れました。その結果は、申し出た全員の雇い止めが撤回され、無期転換への変更も約束されるという画期的なものでした。団体交渉に参加した組合員は、「まさかと思っていたので、びっくりした。組合の力ってすごい」と興奮気味に語りました。同時に「学校のやりかたに納得がいかなかった。声を挙げ、行動することが大事だ」との感想も。「無期転換ルール」は非正規労働者に安定した雇用をもたらすものです。しかしせっかくのルールも行動しなければ手に入りません。桜の季節を前に、自ら行動して雇用継続を勝ちとった非常勤講師たち。その顔には自信と喜びがあふれています。

（よ）